

2026年9月28日

国際原子力機関 (IAEA) によって実施された 分析機関間比較 (ILC2025) の報告書の公表

国際原子力機関 (IAEA) では、日本政府の要請に基づき、我が国の海域モニタリングの結果の信頼性、透明性の確保について日本政府を支援するため、2014年から分析機関間比較 (ILC: Interlaboratory Comparison) を実施しています。分析機関間比較事業は、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所 (1F) の廃炉について、2013年度にIAEAがとりまとめた報告書に記載された海洋モニタリングに関する助言のフォローアップとして開始されたプロジェクトの一環です。

今般IAEAが、2025年の実施結果をまとめた報告書¹を公表しましたので、お知らせします。ILC2025には、IAEAが選出したフランス、韓国及びスイスのALMERA²メンバーの分析機関も参加しました。IAEAは、日本の試料採取手順が、代表的な試料を採取するために必要である適切な基準を引き続き遵守していることを確認し、ILC2025及び過去のILCで得られた正確な分析結果から、日本の分析機関の高い能力と信頼性を評価しています。

また、これらの結果は、定常的なモニタリングとも一致しており、1F周辺の海洋環境の放射性核種濃度が引き続き比較的低く安定していることを示しています。

¹ 報告書の全文は、IAEA のホームページで閲覧することができます。また、IAEA が作成した ILC の紹介動画についても閲覧することができます。(下記 URL 参照)

・報告書:

[interlaboratory-comparison-2025-determination-of-radionuclides-in-seawater-sediment-and-fish.pdf](#)

・紹介動画:

<https://www.iaea.org/newscenter/multimedia/videos/the-fukushima-data-checkers-monitoring-the-monitors>

² ALMERA (Analytical Laboratories for the Measurement of Environmental Radioactivity)は、環境試料中の放射性核種測定的能力を維持・発展させるため、IAEAにより調整される世界の203の加盟研究所で構成され、1995年に設立されたネットワークです。

《担当》

【海水・海底土試料の分析に関すること】

原子力規制庁 放射線防護グループ 監視情報課

担当：谷、川辺、鈴木、友岡、神田

電話：03-3581-3352(代表)

03-5114-2125(直通)

環境省 水・大気環境局 海洋環境課

担当：二平、足立

電話：03-3581-3351(代表)

03-5521-8306(直通)

【水産物試料の分析に関すること】

水産庁 増殖推進部 研究指導課

担当：小川、帰山

電話：03-3502-8111(代表)

(内線6782)

03-6744-2030(直通)

【IAEAとの協力に関すること】

外務省 軍縮不拡散・科学部 国際原子力協力室

担当：金田、内藤、川口

電話：03-5501-8227(代表)